

東海大学海洋学部

海洋文明学科

古代体験授業レポート

静岡県埋蔵文化財センター

令和4年2月17日(木)

東海大学海洋学部海洋文明学科の2年生13人が、フィールドワーク基礎演習の授業の一環として、県内の発掘調査の成果や考古学的な調査の方法を学ぶ目的で、日下先生の計画により来所しました。今回は、大学の授業の一環ということで、通常より一步踏み込んだ深い内容の「発掘調査の概要と成果」の話、館内見学、石器割りと石器の試し切り、火起こし体験等、4つの活動をしていただきました。

◎発掘調査の概要と成果の話

はじめに、当センターの役割や業務内容などの説明を受けた後、発掘調査の方法や保存方法の話を実際に聞いていました。学生のみなさんにとっては、他分野の専門家の詳しい話を聞くことは大変有意義だったようで、メモをとりながらうなずいて聞いていました。特に保存修復の話は、興味深かったようです。

はじめに、当センターの役割や業務内容などの説明を受けた後、発掘調査の方法や保存方法の話を実際に聞いていました。学生のみなさんにとっては、他分野の専門家の詳しい話を聞くことは大変有意義だったようで、メモをとりながらうなずいて聞いていました。特に保存修復の話は、興味深かったようです。



◎館内見学



資料整理室



フォトスタジオ



展示室1~3

収蔵庫

保存処理室

展示室1~3及び体験学習室、資料整理室、保存処理室、フォトスタジオ、収蔵庫などを見学しました。短時間での見学のため、どの部屋も説明を聞くだけとなりましたが、熱心に説明を聞きメモをとりながら見学していました。

◎石器割り&石器の試し切り体験



当センターの体験活動では初めての石器割り体験を行いました。黒曜石をきれいに割ることの難しさを感じ

つつ活動していました。さすが大学生、鹿の角で黒曜石の先端から1ミリのポイントに打撃を加え、見事に薄く割ることができていました。また、自分で割った黒曜石で、野菜くずや新聞紙を試し切りし、刃がスーッと新聞紙を切ると、「オー！」と驚嘆の声が響きました。



◎火起こし体験

初めて体験する学生がほとんどでしたが、楽しみながら火を起こすことができました。一人だけ、もみきり式にチャレンジしましたが、火種を作れず、途中から舞いきり式に変更し、火を起こすことができました。

